

だいち

地域に生きる

編集者：蓮田太陽の里
「だいち」広報委員会
〒349-0101
埼玉県蓮田市黒浜1045-1
TEL 048-764-3881
FAX 048-764-7788
H P <http://minuma-hukushi.com/>

お茶の文化

書 関口忠司

巻頭コラム

障害者まつり

10月8日の埼玉県障害者交流センターで行われた障害者まつりで販売活動をしてきてくれました。今年も街づくりの会と協同しての参加でした。

課業では授産製品と飲み物の販売をしましたが、日差しが強くて暑い日だったので、飲み物がたくさん売れました。お昼過ぎには、飲み物はほとんど売れてしまいお茶は売り切れ。もっとたくさんお茶を仕入れおくべきでした。

午前中に見学で参加した関口さんと小坂井さんはそれぞれ買い物や散歩してにぎやかなまつり雰囲気を楽しんでいました。来年はもっと飲み物をたくさん仕入れて障害者祭りに臨みたいと思います。

野村 勇作（職員）



那須旅行

10月の5〜6日、那須に一泊旅行へ行きました。当日の朝は少し肌寒く那須はもっと冷えるだろうということ、みんな温かい格好で車へ乗り込みます。1号車には飯島、根本、丸山、根本母、丸山母、大浦、松本の7名。2号車には、田村、岩上、郷子、岩上母、田村父、中村、島村、安藤の8名。合わせて15名での旅行です。

大地を出て一気に、那須のイタリアンレストラン、シヨイア・ミアへ。私自信イタリア料理など滅多に食べないので、思い切ってみなでコース料理をとることにしました。お店は高級なレストランというより、木のイメージが強く暖かいゆったりできる良い雰囲気、仲間達も緊張せずゆったりの料理を楽しめそうです。料理は

前菜から順々にだされて、その度に美弥さんは嬉しそうに拍手をしていました。岩上さんはお店をきよろきよろ見渡しながら、プリンをお母さんに買ってもらい、美味しそうに食べています。根本さんはお母さんがずっと一緒なのでとても元気です。飯島さんは心配になるほど黙々とよく食べていました。丸山さんは後半泣いてしまい、お散歩タイムです。



昼食をすませ次に那須ハイランドパークへ行きました。平日で人は少なく貸切り状態です。入り口のすべに『超・体・感！ウルトラヒーローワールド』では色々なウルトラマンと会えることができ、たくさん写真を撮って盛り上がりました。乗り物は少しだけになりました。乗りましたが、シブりにポケモンになんでも売っているお土産屋さんがあり、なかなか楽しめたかなと思います。

二日目は那須動物王国へ行きました。午後からは雨の予報で、風も強く寒かったので、室内をメインに周って行きました。はじめに行った、犬猫ゾーンはみんな興味津々で触れ合っていました。ただ根本さんは、猫を近づけてあげると「わぁー」と声をあげていて、どうも苦手なようです。ある程度

園内をまわり、寒いので早めに昼食をとって次へ向かいます。



最後の目的地、那須アウトレット。みんな分かれて、ショッピングを楽しみました。みなでお茶をしながら、車へ乗り込んでいると雨がポツリポツリと降ってきました。「なんとか最後まで持ってくれたね。」「よかったよかった。」と、どんだん雨の強くなる中大地へ帰っていきました。

異動あいさつ

皆さんお元気ですか？10月から白岡デイサービスへ異動になりました松浦です。ちょうど大地開所時に退職させてもらい、15年間を大地で過ごさせてもらいました。

仲間達と一緒にいちから生活を作っていく事、仕事・文化・リハビリといった日課を深めていく事、自分達の生活と社会との関係を見つめていく事など、たくさんを経験をさせてもらいました。

そのような中で、自分の価値観も変わっていきました。初めは、例えば仕事では売上を上げる事や動作的に参加出来る事、リハビリでは身体機能が改善する事ばかりを大切にしていきましたが、最近ではそれだけでなく、そのような活動を通じて自分への自信を育んだり、他者を思えたり他者から思ってもらえたりといっ

た関係が豊かになる事なども大切だと思うようになりました。活動の中身だけでなく、活動の先にあるものが分かってきました。仲間達から教えてもらった事です。

大地の仲間達は身体障害を抱えているからこそ、これからの困難も大きいと思います。でも、1人では乗り越えられないけれど、みんながいれば乗り越えていけると思いますし、そう思える仲間関係が15年間の生活の中で築き上げられていますし、それがこれからの大地で大いに発揮されていくのだと思っています。

施設は変わりましたが、遠くからこれからも大地の仲間達を応援していきたいと思っています。仲間、ご家族、職員の方々、15年間本当にありがとうございました。

松浦 禎洋（職員）

みなさんこんにちは。大地厨房調理員の黒田由希恵です。この度、開所より15年間勤務させて頂いた大地を、退職することになりました。

私が、調理師として初めて働かせてもらった場所。沢山の仲間達に支えられ、数々の失敗も、大きな経験として乗り越えさせてもらいました。

最初に作った炒飯は、お粥でした。炊飯器さへ、まともに使えないのに、妙に鼻っ柱だけは、強かった20代。…反省。

仕事が楽しくて、楽しくて、天職だわっ！っと、勘違いしていた30代前半。…怖い。

その間には、大切な仲間達とお別れして、「無力だな」と落ち込んでいた時もありました。でも、お別れした仲間達が、沢山の未来

をつないでくれました。

家族と同じように、仲間たちに少しでも長く食事を楽しんでもらいたいのには、職員も、厨房も同じです。今、食事をしている仲間達を、開所時では、支えられていないと思います。一つひとつ経験を積んで、施設も人も成長していきます。

来年からは、栄養士が2名の体制となり、専門性が広がります。

私は、40代になり、第何次成長期かは、わかりませんが、また新たな船を漕ぐことに決めました。残して行く物は、ないけれど皆さんから頂いた経験は、いつかまた違う形で返していけたらと思います。今まで、本当にありがとうございました。

黒田 由希恵（厨房職員）

全日本プロレス観戦報告

10月14日(土) 蓮田市総合市民体育館(パルシー)で全日本プロレスが開催され、観戦してきました。

全体会にて行きたい人を募り、女性はプロレス大好きな莉恵さんとスポーツ観戦が好きなお栗原さん。男性はあみだくじで決まった関口さんと篠原さんです。職員は仕事で(無料で)プロレスが観れるなら…と小原さん。そして全然プロレスに興味がない私、安藤で行って参りました。

さて、当日。行きの車中、プロレスを観たことが無い私は莉恵さんにどんな所が面白いか訪ねました。莉恵さんは「うーん、なんて言えばいいかからない。けど、私がハマったから安藤さんも楽しめると思うよ。」と、答えてくれ私も少しだけ楽しみになってきました。

17時過ぎに会場に到着し、夕飯を食べ終え、客席に向かいます。席に着いて少

しすると音楽が流れ、選手が入場してきました。試合開始のゴングが鳴ると選手はお互いに掴みかかります。観客は選手の名前をコールしたり、手拍子をしたりして盛り上げます。仲間たちはというと、栗原さんはマネしてコールしたり、技が決まると拍手していました。莉恵さんは真剣な表情でリングを見つめていました。関口さんは「いけー！」など大きな声で応援していました。篠原さんは技が決まると大喜び！足で拍手をしていました。

私はもっと痛々しいものを想像していたのですが、わざと負けたり、カウントギリギリで立ち上がったたり、リングの外の人が入入したりと選手たちの「楽しんでらおうー！」という気持ちが伝わってきて興味がなかった私もとても楽しめました！

全試合が終わり、仲間も職員も満足な表情で会場を後にしました。

安藤 浩子(職員)

国際福祉機器展見学報告

9月29日(金)に国際福祉機器展へ行ってきました。国際福祉機器展は今年で44回目を迎え、15か国1地域より528社の企業・団体が数多くの製品が展示されるとも大きなイベントです。メンバーは岩崎さん、岩崎さん母、土屋莉恵さん、丸山OT、高橋の5名で東京ビックサイトに向かいました。到着して向かったのは福祉車両のブースです。岩崎さんの座高の高い車椅子が乗れる車を探しに行きました。中々乗れる福祉車両が無く、何台か試乗すると一台だけ岩崎さん乗れる車がありました。お昼休憩を挟み次に莉恵さんの使うスプーンを見に行きました。様々な形のスプーンがあり、実際に莉恵さんに持ってもらういながら見ました。「もっと柄が長い方がいいかも」と莉恵さんも色々感想を言いながら一

番持ちやすそうなスプーンを一本購入しました。他にも大きな段差を楽々超えてしまう車椅子があったり、ムースでできた蕎麦を試食したりと様々な商品を見て回りました。私自身初めてこのような大きな展示会に行かせていただき、初めて見るような福祉用具がたくさんあり驚きました。障害が障害として扱われなくなる日がいつか来るのかなあと思ったりハイテクノロジーでとても刺激的な展示会でした

高橋 茂奈美(職員)



大地「衆院選挙」の取り組み

衆議院の解散に伴ない、総選挙が実施されました。

投票は重要な人権行使の行為です。選挙公示から投票日まで十二日間しかなく、期日前投票を考慮するともっと短い時間しか許されない中でしたが、仲間が自分や周りの人たちの生活に影響する内容について、直接に人権を行使する機会ですので、考えをまとめやすくするための学習会を催すことにしました。

公示直前に、希望の党の立ち上げ・民進党の希望の党への合流問題・立憲民主党の立ち上げなど、慌ただししい動きがあり、特に、比例区選挙についての解説については、短い準備期間の中でどうするのか、たいへん迷うところでした。参院選との違い・投票の種類と



方法・各政党の特色と憲法についての考え方・最高裁判事の国民審査等について、夕方の取り組みの時間を使って勉強しました。また、勉強した内容の理解をしやすくするために、掲示による解説も行ない、合わせて「きょうされん理事会」から仲間宛てに出された文章も紹介・掲示しました。

住民票が大地にない仲間もありますので、可能な限り期日前投票



に行けるようにし、選挙当日には大地に住民票のある仲間と黒浜小学校投票所で投票すると共に、期日前投票に行けていなかった仲間の投票所にも足を運びました。

投票は、直接的な人権行使の行為であると同時に、地域の人に出会い・地域の施設を見・社会参加として貴重な体験の場でもあるので、今後も解りやすく解説しながら継続するべき課題だと考えてい

ます。

太陽の里での投票の取り組みを思い出します。何度か選挙がありました。あるお母さんから「投票所にスロープが付いた」とのことでした。仲間の参加が投票所を変えたこと、忘れられない思い出です。

原 俊久（職員）



情勢を共有しよう

精神保健福祉法改正案の廃案と抜本的な精神医療制度を求める声明

政府は2017年2月28日、「相模原市の障害者支援施設での殺傷事件の再発防止」を改正趣旨に掲げた「精神保健福祉法改正案」を閣議決定し、国会に上程しました。わたしたちきょうされんをはじめ、障害者団体の多くは、この改正案に反対の声をあげてきました。この法改正は、第193回通常国会での施政方針演説に端を発しています。

一方、改正案が閣議決定される4日前の2月24日に横浜地方検察庁は精神鑑定などを踏まえ、容疑者を「完全責任能力がある者」として起訴しました。被告は「自己愛性パーソナリティー障害」と鑑定されており、措置入院したことの妥当性そのものが問われています。このような司法鑑定の結果にも関わらず、政府は、相模原事件と措置入院のあり方を関連づけた法案を提出し

ました。

こうした矛盾を参議院審議で指摘され、法案趣旨（立法根拠）の変更という、前代未聞の事態が生じました。「改正の趣旨」から「相模原市の障害者支援施設の事件では、犯罪予告通り実施され、多くの被害者を出す惨事となった。二度と同様の事件が発生しないよう、以下のポイントに留意して法整備を行う」という文言を削除するものでした。

このことは政府自らが、相模原事件と精神疾患とは関連性がないことを認めたとこととなります。当然のことながら、法案趣旨の削除は法案の根拠を失うことです。つまりこの精神保健福祉法改正案は、根拠を失った改正案、廃案になるべき法案になったといえます。しかし、国会審議は強行され、5月17日に参議院を通過、衆議院での継続審議となりました。

わたしたちはこの改正案の継続審議

に抗議し、廃案を強く求めるものです。

わが国の精神医療制度は、措置入院制度のあり方にのみ、問題があるわけではありません。今回のような、根拠が薄弱な法改正に時間を割いている余裕はなく、もっと抜本的な精神医療制度の改革が求められます。

わが国の精神医療の問題は、長年にわたる隔離収容中心の政策など、構造的な欠陥に近因するものです。1060力所の精神科病院などに、29万人もの人たちが現在も入院しています（うち20万人が1年以上の入院、平均入院日数は275日：「病院報告」2015）。これとあいまって、「精神科特例」という特異な医療制度があり、治療のため「入院」ではなく、病院経営のため「収容」となっています。また、約2万人が身体拘束及び保護室に隔離されていることが明らかになりました。こうした精神医療の問題は、国際的にも著しく低い評価を受けています。さ

らに国は、精神科病院に入院している人たちに対し「重度かつ慢性」というあらたな基準を設け、長期の入院を正当化しようとしています。「重度かつ慢性」だから地域で暮らせないという考え方は、「社会的入院」の解消を阻むだけでなく、基本的人権を真っ向から否定し、国際的な規範や潮流にも背を向けるものです。

以上を踏まえ、臨時国会開会後速やかに衆議院上程の精神保健福祉法改正案を廃案とし、同時に、早急に行政並びに立法府の責任において、精神医療制度並びに精神障害関連政策の構造的な改革に着手するよう強く要請します。

きょうされん常任理事会



なかまと

みんなの

輪



まりこの 素敵な日常

まことくんのダンスをみにい
きました。よかったです。また
みにいきたい。

おとうさんとしょうがいしゃ
まつりにいきました。たのし
かったです。 まりこ



ゆかいに したい

おじいちゃんにたくさんお話を
聞かされたのでおもしろい
ですね。

みや



ぶろぐに書いてみました。
おきやんがいらしては
いいですね。おもしろ
かったです。また
いきたいです。

SN



さきの おススメ

おススメ

ボランティア 募集

ウエス・古本・バザー品の

『大地』では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

①ボランティア募集

館内の清掃や洗濯物の整理、ちょっとした身の周りのお手伝いや、外出の付き添いなどのボランティアさんを募集しています。

②ウエスの材料、バザー品（古本、雑貨）

仲間達が仕事で使う、ウエス製品の材料→綿100%の衣類、タオル、シーツ。また、バザーなどで販売するための古本（文庫本、マンガ）、雑貨（家庭で不要になったまだ綺麗で使える物）を募集しています。是非ご協力お願いします。

①ボランティア担当（面来、大谷）

②ウエス、古本担当（野村、北隅）

ありがとう
ございました！



岩上 めぐみ様

29年10月度に寄付して下さい下さった方

ありがとうございました



近野茂治の
今月のイネ！



みんな仕事がんばってるねえ！
ボーナスにむけてさらに頑張ろう!!!

大地11月の予定

1,2	(水・木)	一泊旅行・ディズニーランド
5	(日)	北区民まつり コープフェスタ 発達保障連続講座
8	(水)	風のコンサート
19	(日)	きょうされん運営委員会 発達保障連続講座
23	(木)	ふれあいコンサート
25	(土)	職員会議
26	(日)	川口太陽の家まつり
29,30	(水・木)	身障協文化作品展

課業より

木枯らしが吹き、次第に寒くなり冬の始まりを感じる季節となりました。そんな中、工房集ではグッズ展が行われました。今回のグッズ展では新しい作品も続々登場し、大地からは高山栄一さんのブックマークと関口忠司さんの書の作品集が新作として登場しました！高山さんのブックマークは緑やオレンジを使った、高山さんらしい筆遣いの格好いい作品に仕上がりました。関口さんの新しい書の作品集「バルコニー」は以前の作品に引き続き内容も関口さんらしい言葉のチョイスで面白い作品となりました。

引き続き書だけでなく、さをりやウエスなど冬のボーナスにむけて協力して頑張ろう！と士気が上がる大地の仲間達でした。

岡部 葉（職員）



<広報だいち>広報委員会（職員）面来・北隅・安藤・岡部・小原
（仲間）田村・神永・土屋莉恵・関口・近野